

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム メロディ

作成日: 平成30年4月21日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	35	自動火災通報装置に責任者等関係職員の登録がない。 有事の際の一時避難場所や受け入れ施設が決まっていない。また、入居者情報の持ち出し一覧表がない。	災害対策についての体制を整える。	自動火災通報装置に管理者を含めた関係者の電話番号を登録するように点検業者に依頼する。 有事の際の一時避難場所、受け入れ施設、持ち出し用の入居者情報一覧を整備する。 6ヶ月
2	4	運営推進会議において、ヒヤリハット、事故報告が発表されていない。 欠席者や参加できない家族に会議録を送付できていない。	運営推進会議を有効活用し、ホームの透明化や信頼関係の構築につなげていく。	ヒヤリハットや事故報告を運営推進会議の場で発表する。 欠席者や参加できない家族に会議録を送付し、信頼関係の構築につなげる。 2ヶ月
3	1	施設の理念については周知されているが、理念に基づいたスタッフの個人目標がない。	施設の理念に基づいた人材育成やサービス提供の体制を作る。	理念に基づいた個人目標を立て、管理者と話し合いながら定期的に達成度を確認する事で、人材育成とサービス提供体制の充実につなげる。 6ヶ月
4	23	ケアプラン見直しの際に本人や家族の同意を聞き取りしているが、今までと同じでいいという意見が多く、潜在的なニーズを引き出せていない。	ケアプランに潜在的なニーズを反映できるようにする。	本人や家族への聞き取り方を工夫し、型通りのプランにならないように意識したうえで希望や意向を把握する方法を確立する。 6ヶ月
5		身体拘束の同意書に期限を書く欄がなく、期限を特に定めていなかった。	やむを得ず身体拘束を行う際の同意書に期限を追加する。	家族に同意を得る際に身体拘束の要件や解除の要件は話し合ったうえで同意を得ていたが、期限をきくことでより身体拘束解除に向け考えることになるということを家族やスタッフにも伝えて、身体拘束ゼロの取り組みをより推進していく。 2ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。